

令和2年度普及活動外部評価が行われました

令和2年9月3日（木）に令和2年度普及活動外部評価が行われました。外部評価とは、各農業農村支援センターで行っている普及活動を外部有識者に評価していただく取組で、今回は2名の外部有識者にお越しいただき、ここ数年の佐久農業農村支援センター（旧佐久農業改良普及センター）の活動を評価していただきました。当地域はレタス、ハクサイ等の葉野菜栽培が盛んな地域であることから、関連した「あぶらな科野菜（キャベツ、ハクサイ等）の根こぶ病対策」、「日本一の夏秋葉野菜産地における新品目（夏秋いちご）導入への挑戦」について報告しました。根こぶ病対策では、現地における普及活動の実態を把握していただくため、対策を実践している就農4年目の農家のほ場視察も行いました。外部有識者からは、「若い農家が農薬だけに頼らず、様々な取組を実践しながら根こぶ病に対応していることに感激した。」「夏季冷涼な気候を利用した、マーケティングから生まれた夏秋いちごの取組みなどとても参考になった。」等の御意見をいただきました。

今回いただいた御意見や御助言を、今後の地域の課題解決につなげていきたいと思っております。



現地視察の様子



普及活動報告の様子